

5年生のみなさんへ

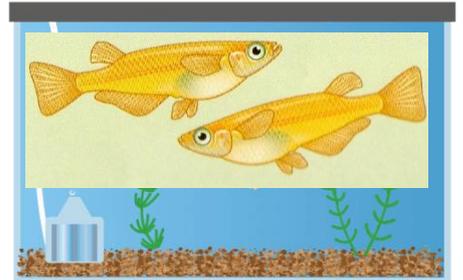
休業中、教室のメダカがたまごを生みました。水草をよく見るとたまごがいくつかありましたよ。さて、そのたまごが何日たつと、メダカがふ化するでしょうか。今日は理科の学習です。



たまごからかえるまでの様子

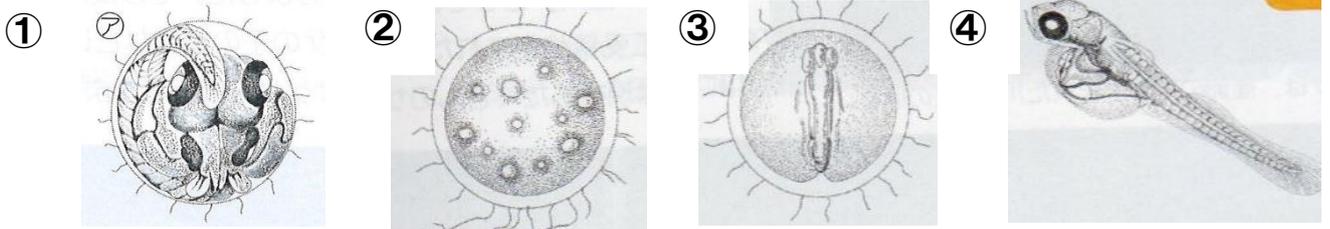
【第1問】

右の水そうでメダカ2ひきを飼っているけれど、たまごを産みません。みなさんはなぜ産まれないか分かりますか。水そうのメダカをよく見ると分かりますよ。ヒレに注目してください。よく見ると、2ひきともせびれに切りこみがなく、しりびれが三角です。このことから2ひきともメスということがわかります。たまごを産むためには、水そうの中に、メスとオスを入れることが大切です。たまごを産みつけることができるよう水草も入れます。



【第2問】

メダカのたまごが成長する順番が分かりますか。図をよく見てください。



正解は②→③→①→④です。たまごの中の様子が少しずつ変化して、魚らしくなります。

たまごは11日ぐらいでかえりますよ。みなさんが登校するとき、教室のメダカはきっと増えていきますね。

【第3問】

かえったばかりの子メダカには、はらにふくらみがあります。この中に何が入っているのでしょうか。



この中には子メダカが育つための養分が入っています。かえった子メダカは数日間はこの養分で育つため、はらのふくらみは、日がたつにつれてだいに小さくなっていきます。

細池先生からのメッセージ

メダカについてわかりましたか。教科書を見直したり、インターネットの動画を見たりして確認しましょう。休みを利用して、他の魚は同じなのかどうか調べてみてもよいですね。

